



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

上場会社名 レオン自動機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田代 康憲
 (コード：6272 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役兼上席執行役員
 管理本部長兼経営企画本部長
 羽石 是之
 (TEL. 028-665-1111)

業績予想(連結・個別)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 11 日に公表しました業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,760	百万円 1,030	百万円 980	百万円 630	円 銭 22.68
今回修正予想(B)	12,905	1,743	1,809	1,137	40.97
増減額(B-A)	1,145	713	829	507	—
増減率(%)	9.7	69.2	84.7	80.6	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	11,082	814	908	671	円 銭 24.17

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,300	百万円 1,980	百万円 1,970	百万円 1,260	円 銭 45.36
今回修正予想(B)	24,400	2,760	2,800	1,700	61.21
増減額(B-A)	1,100	780	830	440	—
増減率(%)	4.7	39.4	42.1	34.9	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	23,023	2,202	2,321	1,872	円 銭 67.42

2. 個別業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,300	百万円 600	百万円 710	百万円 490	円 銭 17.64
今回修正予想(B)	7,749	1,019	1,228	837	30.14
増減額(B-A)	449	419	518	347	—
増減率(%)	6.2	69.9	73.0	70.9	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	7,321	668	833	727	円 銭 26.17

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,300	百万円 1,180	百万円 1,320	百万円 900	円 銭 32.40
今回修正予想(B)	14,800	1,600	1,800	1,230	44.29
増減額(B-A)	500	420	480	330	—
増減率(%)	3.5	35.6	36.4	36.7	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	14,110	1,356	1,550	1,356	円 銭 48.84

3. 業績予想修正の理由

(1) 第2四半期(累計)業績予想

〔個別〕

国内では製パンライン等において高額なラインの販売が多く売上が好調に推移しました。

海外ではヨーロッパ向けの製パンライン等の販売が多く、またドル・ユーロともに当初想定した為替レートより円安に推移したため売上が好調に推移しました。

以上により売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

〔連結〕

食品加工機械製造販売事業において日本が上記個別の理由により売上が好調に推移しました。

食品製造販売事業においてもアメリカのオレンジペーカーの売上が好調で、また当上期においては原材料であるバターの価格の低下により、売上、売上総利益ともに好調に推移しました。

以上により売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

(2) 通期業績予想

〔個別〕

下期は当初計画にたいして国内売上は減少しアメリカ、アジア向けの売上が増加する見込みで国内海外合計ではほぼ当初の計画通りを見込んでおります。上期に売上が集中し、当初計画を上回ったため、通期では、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

〔連結〕

下期は上記個別の理由に加え食品加工機械製造販売事業において、アメリカ、ヨーロッパの売上が当初計画に対し減少が見込まれますが、食品製造販売事業において、オレンジペーカーの売上が当初計画に対し増加する見込みであります。

以上により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表した予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期業績予想にあたっては、下期の為替レートを、1ドル=115円、1ユーロ=130円を前提としております。

4. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成27年5月11日)	円 銭 7.00	円 銭 7.00	円 銭 14.00
今回修正予想(B)	7.00	11.00	18.00
前期実績 (平成27年3月期)	4.00	16.00	20.00

5. 配当予想修正の理由

当社は、利益配分の基本方針として、連結配当性向の目標を30%とし、継続的かつ安定的な配当を行うこととしております。

上記の業績予想の上方修正を踏まえ、期末配当予想を前回予想に対し4円増配の11円とし、年間配当18円（中間配当7円、期末配当11円）を予定いたしております。

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上